

令和4年度「国際交流員」の採用・着任について

本市では、2020東京五輪のホストタウン交流をきっかけに始まったウズベキスタン共和国との交流を2020東京五輪終了後においてもオリンピックレガシーとして継続・発展させるため、引き続き同国から「国際交流員」を採用することとします。

この度、新たな国際交流員の採用に伴う辞令交付および多々見市長への着任挨拶を下記のとおり行うこととなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 辞令交付および市長への着任挨拶

- (1) 日時： 令和4年8月25日(木) 16:00～
- (2) 場所： 市役所本館3階 特別応接室

2. 令和4年度国際交流員

- (1) 氏名：アフメドフ アシルベク ママトウクル ウグリ
(AHMEDOV ASILBEK MAMATKUL UGLI)

国籍：ウズベキスタン共和国

性別：男性

生年月日：1994年12月9日(27歳)

経歴：2016年9月～2020年7月

タシケント東洋学大学 日本学科

2018年9月～2019年7月

京都外国語大学 留学生別科(日本語研修課程)

2020年11月～2022年8月

日本語教育機関 Mirai Educational Center co-founder 日本語教師

- (2) 任期：令和4年8月22日から令和5年7月31日まで

(3) 舞鶴での勤務内容等

(ア) 勤務場所：産業振興部産業創造室みなと振興・国際交流課

(イ) 担当業務：市民との交流活動(ウズベク情報の発信、各学校や団体への出前講座、語学講座)、ウズベキスタン共和国との友好交流の促進(各種連絡・調整・翻訳通訳等用務)、みなと振興事業(通訳、クルーズのおもてなし等)など。

3. 国際交流員 (Coordinator of International Relations、CIR) について

地方自治体の国際交流部門において、地域の国際化を推進する職務に従事する海外出身の青年を指す。舞鶴市が平成17年度に友好都市である中国大連市からCIRを招聘して以来、アフメドフ・アシルベク国際交流員は16人目、ウズベキスタン人国際交流員としては2人目となる。

(参考) 中国人CIR…平成17年度～令和元年度 計14名、ウズベク人CIR…平成29年度～現在 計2名

